

令和4年度 第1回地方創生推進委員会議事録

| | | | | | | |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---|--|--------|---|
| 会議名称 | 令和4年度第1回芦屋町地方創生推進委員会 | | | | | |
| 日時 | 令和4年8月4日（木） 午後6時57分～午後7時45分 | | | | | |
| 会場 | 芦屋町役場 3階 31会議室 | | | | | |
| 議題 | <ol style="list-style-type: none"> 1 副町長あいさつ 2 委嘱状交付 3 会長・副会長の選出 4 諮問 5 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度スケジュールについて (2) 令和3年度における第2期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（案）について (3) 芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価の中間答申（案）について (4) その他 | | | | | |
| 委員の出欠 | 会長 | 内田 晃 | 出 | | 松本 健吾 | 出 |
| | | 横尾 武志 | 出 | | 中西 智昭 | 出 |
| | | 松岡 泉 | 出 | | 山下 敦史 | 出 |
| | | 山村 朋代 | 出 | | 小原 隆寛 | 出 |
| | 副会長 | 吉岡 学 | 出 | | 西村 由美子 | 出 |
| 合意 決定事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・会長は内田委員、副会長は吉岡委員に決定した。 ・令和4年度スケジュールについて、承認される。 ・令和3年度における第2期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価（案）について、承認される。 ・芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価の中間答申（案）について、承認される。 | | | | | |

1 副町長あいさつ

芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略は、平成27年度からの5年間で第1期、令和2年度からの5年間で第2期の計画期間とし、総合戦略の評価・検証を行いながら、地方創生を切れ目なく推進しているところである。

本日は、令和3年度における総合戦略評価(案)等についての審議を行うが、皆様方の忌憚のないご意見、お知恵を賜りますよう、お願い申し上げます。

2 委嘱状交付

委員を代表して、内田委員に委嘱状交付。

3 会長・副会長の選出

会長、副会長の選出は、事務局一任で了承を得る。

会長に内田委員、副会長に吉岡委員を選出し、了承を得る。

(会長あいさつ)

昨年度は、令和2年度における第2期総合戦略の評価を行った。本日は、令和3年度における第2期総合戦略の評価を行う。コロナの感染拡大が続いているため、なるべく簡潔に、効率的に会議が進められるよう、協力をお願いしたい。

4 諮問

副町長から内田会長に諮問書の交付。

5 議事

(1) 令和4年度スケジュールについて

(事務局)

資料1を用いて、事務局より説明。

質疑なし

(2) 令和3年度における第2期芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価(案)について

(事務局)

資料2-1、2-2を用いて、事務局より説明。

(委員)

コロナの影響が非常に大きいため、令和3年度の目標は、適正な目標であったの

かと思う。コロナの影響を受けてるもののはっきりしているなら、残りの年度の中で、目標の見直しを考えなければならないのでは。コロナ禍でも実施できている項目があるので、それはすばらしいことだが、できていないところの評価が、適正な評価に値するのか、疑問である。

(事務局)

コロナ禍での目標が適正かどうかという点は、目標を見直すという考えがなかったわけではない。しかし、先の状況が全く見えない中、仮に見直すとしても、どのように見直すか、目標の設定が非常に難しい。コロナ禍でも、影響なく進められている施策もあり、また、担当課が工夫して達成できてるものもあるので、目標は現状のままとするのが、事務局としての考えである。

(会長)

例えば2ページの観光入込客数は、コロナの影響を大きく受け、K P I が 65 万 4000 人に対し、令和2年度は 20 万 5900 人となっている。コロナの影響を受けている項目は、昨年度からBのままになっているところが多い印象である。この目標はコロナの影響前の令和元年度に計画されたものであり、この先、あまり影響がないことを願いたい、その中でも令和5年度、令和6年度に達成できる項目も当然あるかと思う。K P I は計画時のまま、評価を行わざるをえないか考える。

その他、質問等ないか。

質疑なし

(会長)

全体としては、資料2-1にあるように、Bが少し減り、Cはなくなったというところである。令和4年度評価のときは、多少イベント等も実施されるのではないかと思うので、令和3年度評価よりいい方向に出てくるのではないかと思う。また、コロナの影響を受けない空き家の有効活用や移住定住は、昨年度に続いて推進されていくのではないかと思う。そういったところに期待しつつ、今年度の評価としたい。

他に質問がないということで、評価(案)について、委員会として承認してよろしいか。

異議なし

(3) 芦屋町まち・ひと・しごと創生総合戦略評価の中間答申(案)について

(事務局)

中間答申(案)について事務局より説明。

(会長)

この中間答申(案)を基に、町に対し、令和3年度における評価について答申する
ということで、異議はないか。

異議なし

では、中間答申(案)については、案を削除し、事務局を通じて町長に答申させて
いただくこととする。

(4) その他

(事務局)

議事録及び報酬・費用弁償の支払い方について説明。